



## Web サイトを活用した情報発信と情報収集、閲覧動向に関する研究

研究代表者：白阪 琢磨（国立病院機構大阪医療センター  
HIV/AIDS 先端医療開発センター）

研究協力者：湯川 真朗（有限会社キートン）

### 研究要旨

HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究班の Web サイト [www.haart-support.jp](http://www.haart-support.jp) は 2004 年に開設し、その後、継続的に研究分担者の成果や講習会の情報など、患者向け情報から医療関係者向け情報まで多様なコンテンツを掲載している。

この報告書では 2020 年 1 月以降の更新内容とアクセス数を報告する。またホームページ上ではアンケートや、記載内容の有用性についてユーザーが評価できるシステム（以下、ページアンケート）を導入しており、その集計も報告する。

なおアクセス数の集計には Google アナリティクス、Google Tag Manager、Search Console を利用しているが、個人を特定できる情報は収集していない。

### 研究目的

本 WEB サイトでは 2007 年から継続してアクセス数を集計しており、閲覧数（ページビュー (PV) 数）がどのように推移しているかを把握することが可能である。その動向を分析することで閲覧者の環境（使用デバイス等）やニーズを把握し、効果的に情報発信することを目的とする。

### 研究方法

#### (1) PC/スマートフォンに対応したサイト構築

分担研究者の研究内容や研究成果を随時ホームページ上に公開する。閲覧可能な端末は PC の各種ブラウザ（Edge, Chrome, Firefox, Safari）とスマートフォン（iOS, Android）でそれぞれ最適な表示がされるようにする。

#### (2) アクセスログの解析

Google アナリティクス、Google Tag Manager、Search Console を採用し、訪問数やページビュー数などが解析可能である。

#### (3) 個別ページから送信するページアンケート

各ページ下部に「このページは役に立ちましたか？」との質問に対して評価項目（役に立った／一部、役に立った／役に立たなかった）を選択し、送信できるプログラムを設置している。（図 1）

送信ページも把握できるようにしているため、ページごとに評価の分析が可能である。

図 1 ページアンケート

#### (4) Web サイト全体に関するアンケート

サイト全体に関するアンケートの送信ページを設置している。設問内容は以下のとおり。

- このホームページをどこでお知りになりましたか？  
【選択項目】 検索エンジン／他のホームページからのリンク／友人・知人に教えてもらった／その他
- お薬情報コーナーで役に立った内容はどれですか？  
【選択項目】 薬カード／Q & A／患者向説明文書（翻訳）／添付文書
- このホームページに追加してほしい情報があれば、ご記入ください。
- このホームページに関するご意見、ご要望があればご記入ください。
- 抗 HIV 薬の服薬を支援する方法を検討するため、定期的にアンケート調査を実施したいと考えています。アンケート調査のお知らせをご連絡してもいい場合は、メールアドレスをご記入ください。
- 年齢
- 性別
- あなたの立場についてお教えてください。  
【選択項目】 患者／患者の家族・友人等／医療関係者／その他

## 研究結果

### (1) コンテンツの更新

表 1 コンテンツの更新履歴

更新日	内容
2020年 2月7日	サイト内検索機能追加
2月25日	おくすりガイドにドウベイト配合錠 (DTG/3TC)、ピフェルトロ錠 100mg (DOR) を追加
3月10日	おくすりガイドにドウベイト配合錠 (DTG/3TC) の添付文書を掲載
3月31日	抗 HIV 治療ガイドライン 2020年3月版 PDF を掲載
5月15日	おくすりガイドにピフェルトロ配合錠 (DOR) の添付文書を掲載
5月28日	抗 HIV 治療ガイドライン(2020年3月発行) の郵送受け付けを開始
6月3日	抗 HIV 治療ガイドライン(2020年3月発行) のスマートフォン・PC版を公開
6月25日	抗 HIV 治療ガイドライン(2020年3月発行) にドウベイト適応追加による追記を掲載
7月29日	推奨処方エビデンスとなる臨床試験に AMBER 試験, GEMINI 1 & 2 試験, DRIVE-FORWARD 試験, DRIVE-AHEAD 試験を追加
8月3日	資料・冊子・研究報告書のダウンロードに「抗 HIV 薬 Q&A Ver.11.0」 PDF を掲載
9月1日	「地域 HIV 看護における拡大戦略の研究」に第 21 回 HIV サポートリーダー養成研修 (ZOOM オンライン) の案内を掲載
9月11日	資料・冊子・研究報告書のダウンロードに「あなたに知ってほしいこと」2020年8月発行<第 15 版> PDF を掲載

11月25日	資料・冊子・研究報告書のダウンロードに「服アド手帖 お薬・虎の巻 (第 12 版)」PDF を掲載 おくすりガイドの抗 HIV 薬に関する Q&A を第 11 版に更新
12月7日	おくすりガイドのプリジスタ錠 600mg の添付文書、プリジスタナイーブ錠 800mg の添付文書を更新
12月25日	おくすりガイドのエピビル錠 150 / エピビル錠 300 の添付文書を更新
2021年 3月	抗 HIV 治療ガイドライン 2021年3月版 PDF を掲載予定

### (2) アクセス解析

2020年1月1日から同年12月31日までを集計した。また参考として前年の2019年の集計も併記した。

#### ① セッション (訪問数)

セッション (訪問数) とは、ユーザーが当サイトに訪れてから他のサイトに移動する (またはブラウザを閉じる) までの一連の行動のことである。他のサイトに移動 (またはブラウザを閉じる) して 30 分を経過すると、同じユーザーでも新たなセッションとしてカウントされる。2020年1月1日から同年12月31日までのセッション数は 401,079 で、前年から増加した。(表 2)

表 2 1ヶ月ごとのセッション数

月	2020年	2019年
1月	40,540	28,212
2月	80,423	24,260
3月	37,015	27,323
4月	42,176	30,402
5月	39,898	37,040
6月	26,685	33,615
7月	26,815	36,018
8月	22,045	30,839
9月	20,261	32,453
10月	20,789	32,727
11月	20,464	32,361
12月	23,968	33,212
合計	401,079	378,462

#### ② ページビュー数

ページビュー (PV) 数は、ユーザーが閲覧したページをすべて集計したものである。2020年1月1日から同年12月31日までのページビュー数は 627,875 で、前年から増加した。(表 3)

表3 1ヶ月ごとのPV数

月	2020年	2019年
1月	61,367	42,475
2月	116,497	35,430
3月	57,350	41,839
4月	62,240	44,653
5月	62,082	56,518
6月	46,681	52,434
7月	44,052	55,088
8月	35,854	47,001
9月	33,944	50,309
10月	35,433	51,672
11月	32,972	50,667
12月	39,403	50,387
合計	627,875	578,473

## ③ 流入元と検索性

どのような経路でアクセスしてきたかを表4に示す。

表4 流入元別セッション数

流入元	2020年 (%)	2019年 (%)
キーワード検索	371,763 (92.69%)	350,396 (92.58%)
お気に入り/ブックマーク/メールのURL等	21,472 (5.35%)	20,604 (5.44%)
他サイトからの参照	6,957 (1.73%)	7,271 (1.92%)
ソーシャルメディア	887 (0.22%)	189 (0.05%)
その他	0	2 (0.00%)
合計	401,079	378,462

流入元としてはキーワード検索が92%を占める。検索サイトではGoogleが最も多く(63.7%)、Googleで検索されたキーワードを集計したのが表5である。

表5 Googleでの検索キーワード

検索キーワード	クリック数	表示回数	CTR <sup>1)</sup>	掲載順位
aids	7,162	80,716	8.87%	4.18
抗hiv薬	5,659	18,730	30.21%	1.58
弛張熱	5,645	32,069	17.60%	2.36
紫斑と内出血の違い	5,591	16,641	33.60%	1.10
hiv薬	4,678	18,950	24.69%	1.53
エイズ治療薬	4,339	39,121	11.09%	2.45
hiv初期症状	4,242	70,693	6.00%	5.53
過敏症	4,168	53,241	7.83%	3.44
間欠熱	4,134	21,168	19.53%	2.01
ネルフィナビル	4,108	44,500	9.23%	3.08

1) CTR: クリック率

表5はクリック数の多い10項目を挙げている。内6項目はHIV/AIDSに関する用語だが、4項目はHIV/AIDSに限らない症状名が挙がっている。これはおくりガイドに掲載している添付文書や解説が検索結果となっている。

## ④ アクセス端末

閲覧者がモバイル/デスクトップ/タブレットのいずれでアクセスしているかを集計したのが表6で、前年に続いてモバイル(スマートフォン)が最も多い。しかしその比率は約7ポイント下がった。考えられる要因としては、COVID-19による緊急事態宣言で在宅時間が増えたため、画面の大きい自宅のパソコンでアクセスした人が増えた可能性が考えられる。

表6 端末別セッション数

デバイス	2020年	2019年
モバイル	263,531 (65.71%)	274,945 (72.65%)
デスクトップ	123,528 (30.80%)	85,903 (22.70%)
タブレット	14,020 (3.50%)	17,614 (4.65%)
合計	401,079	378,462

## ⑤ 抗HIV治療ガイドライン(研究分担者: 四本美保子)

<https://www.haart-support.jp/guideline.htm>

抗HIV治療ガイドライン2020年版は3月にPDFを公開し、スマートフォン/PC版は6月3日に公開した。また6月25日にはドゥベイト適応追加による更新を行った。

2020年1月1日~同年12月31日までの閲覧総数は194,646であった。内訳を表7に示す。

表7 抗HIV治療ガイドライン年間閲覧数内訳

種別	2020年版	2019年版	合計
PDF版	11,441	2,500	13,941
シムツォザの承認による追記(2019.7.27) PDF	-	943	943
ドゥベイト添付文書改訂による追記(2020年6月18日) PDF	1,440	-	1,440
スマートフォン/PC版	49,405	132,360	181,765
合計	62,286	135,803	198,089

スマートフォン/PC版は単に印刷物と同じ形式をホームページに再現するのではなく、表を作り直すなどし、小さな画面でも容易に閲覧できるようにした。(図3)



図2 2020年3月版



図3 スマートフォン表示の例

スマートフォン/PC版（2020年版）は115ページある。アクセス数の多い10ページを表8に示す。

表8 抗HIV治療ガイドライン2020年3月版 PV数

ページタイトル	PV数
抗HIV薬選択の基本	7,951
はじめに	4,810
抗HIV薬の作用機序	2,995
治療開始時期と治療成績	2,211
HIV感染症の自然経過	1,508
初回治療として選択すべき薬剤の組み合わせ	1,425
主な免疫再構築症候群の病態	1,385
HIV感染症治療の目的	1,148
HIV感染症の病状を把握するためのパラメーター	1,072

臨床経過	959
以下省略	
2020年の総ページビュー数	135,398

### ⑥ 推奨処方エビデンスとなる臨床試験（研究分担者：四本美保子）

<https://www.haart-support.jp/evidence/index.htm>

今年度は新たに AMBER 試験, GEMINI 1 & 2 試験, DRIVE-FORWARD 試験, DRIVE-AHEAD 試験を追加した。

**初回治療として選択すべき抗HIV薬の組合せ**

試験名をクリックすると、概要のページが表示されます。

最も推奨される組み合わせ	その他の推奨される組み合わせ
<b>INSTI</b> <b>BIC/TAF/FTC</b> 1489, 1490	<b>INSTI</b> <b>DTG/3TC</b> GEMINI 1 & 2 <b>NEW</b>
<b>DTG/ABC/3TC</b> SPRING-2, SINGLE, FLAMINGO, 1489	<b>EVG/cobi/TAF/FTC</b> GS104, GS111
<b>DTG+TAF/FTC</b> 1490	<b>NNRTI</b> <b>DOR+TAF/FTC</b> DRIVE-FORWARD <b>NEW</b> , DRIVE-AHEAD <b>NEW</b>
<b>RAL+TAF/FTC</b> (※TDF/FTCとして ONCEMRK, STARTMRK, SPRING-2)	
<b>PI</b> <b>DRV/cobi/TAF/FTC</b> AMBER <b>NEW</b>	
<b>DRV+rtv+TAF/FTC</b> (※TDF/FTCとして ARTEMIS, FLAMINGO)	
<b>NNRTI</b> <b>RPV/TAF/FTC</b> (※RPV/TDF/FTCとして ECHO, THRIVE)	

● 赤字が主要な比較試験。  
 ● グリーンは対照群となっているもの。

**過去の臨床試験**

- NCT01440569試験：DRV/c + TDF/FTC
- GS102試験, GS103試験：EVG/cobi/TDF/FTC
- CASTLE試験：ATV + rtv + TDF/FTC
- ALERT試験：ATV + rtv + TDF/FTC
- CNA30024試験：EFV + ABC/3TC
- GS934試験：EFV + TDF/FTC
- ACTG5202試験：EFV + TDF/FTC, EFV + ABC/3TC, ATV + rtv + TDF/FTC, ATV + rtv + ABC/3TC

**診療の参考となるその他の臨床試験**

- 早期の抗HIV治療が二次感染予防となるかを評価（HPTN052試験）
- TDF/FTC群とABC/3TC群の48週後の腎機能評価（ASSERT試験）
- CD4数に応じて治療開始と中断を繰り返す間欠治療群と、治療継続群とを比較（SMART試験）
- キードラッグ2剤のみを使用した場合の効果（ACTG5142試験）
- 治療開始基準の参考となる大規模コホート（NA-ACCORD）
- 抗HIV薬と心筋梗塞のリスク評価（D:A:D試験）

図4 推奨処方エビデンスとなる臨床試験

2020年1月1日～同年12月31日の総ページビュー数は1,848であった(前年は1,733)。各試験ごとのページビュー数は表9のとおりである。なお各試験は公開時期が異なるため単純な比較はできない。

表9 試験別PV数

試験名	2020	2019
SMART 試験 間欠治療群と、治療継続群とを比較	176	186
ACTG5142 試験 キードラッグ2剤のみを使用した場合の効果	148	106
HPTN052 試験 早期の抗 HIV 治療が二次感染予防となるかを評価	76	148
SPRING-2 試験 DTG+NRTI2 剤 vs RAL+NRTI2 剤	71	59
D:A:D 試験 抗 HIV 薬と心筋梗塞のリスク評価	68	43
1489 試験 BIC/TAF/FTC vs ABC/3TC/DTG	60	35
FLAMINGO 試験 DTG+2NRTIs vs DRVrtv+2NRTIs	52	45
1490 試験 BIC/TAF/FTC vs DTG+TAF/FTC	44	28
ACTG5202 試験 ABC/3TC 群と TDF/FTC 群のランダム化比較試験	44	25
GEMINI 1 & 2 試験 DTG/3TC vs DTG+TDF/FTC	42	0
ARTEMIS 試験 LPV/r を対照群とし、DRV/r の非劣性の RCT	36	31
SINGLE 試験 DTG+ABC/3TC vs EFV/TDF/FTC	35	28
STARTMRK 試験 EFV を対照群とし、RAL の非劣性の RCT	32	24
NA-ACCORD 試験 治療開始基準の参考となる大規模コホート	31	40
ASSERT 試験 TDF/FTC 群と ABC/3TC 群の 48 週後の腎機能評価	29	27
ECHO 試験 RPV+TDF/FTC vs EFV+TDF/FTC	28	26
ONCEMRK 試験 RAL1200mg の 1 日 1 回 vs RAL400mg の 1 日 2 回	26	13
GS104, GS111 試験 EVG/cobi/FTC/TAF vs EVG/cobi/FTC/TDF	17	41
THRIVE 試験 RPV+2NRTIs vs EFV+2NRTIs	17	25
CASTLE 試験 LPV/r を対照群とし、ATV/r の非劣性の RCT	15	25
NCT01440569 試験 DRV/c の試験 (アメリカ、56 施設)	14	25
ALERT 試験 FPV/r 群と ATV/r 群との RCT	11	4
AMBER(3001) 試験 DRV/cobi/FTC/TAF vs DRV/cobi+FTC/TDF	9	0
DRIVE-AHEAD 試験 DOR/3TC/TDF vs EFV/FTC/TDF	9	0
GS102 試験 EVG/cobi/TDF/FTC vs TDF/FTC/EFV	7	17
CNA30024 試験 AZT/3TC を対照群とし、ABC/3TC の非劣性の RCT	6	8

GS103 試験 EVG/cobi/FTC/TAF vs TDF/FTC/ATV rtv	6	25
GS934 試験 AZT/3TC を対照群とし、TDF/FTC の非劣性の RCT	1	8
総ページビュー数	1,848	1,733

### ⑦ 福祉施設における HIV 陽性者の受け入れ課題と対策 (研究分担者：山内哲也)

<https://www.haart-support.jp/institution.htm>

このページでは社会福祉施設で働く方を対象に、研修会のお知らせと、冊子「HIV/AIDSの正しい知識」のPDF版を掲載している(図5)。PDFは2019年5月7日に第2版に更新した。ページビュー数とPDF閲覧数は表10のとおりである。

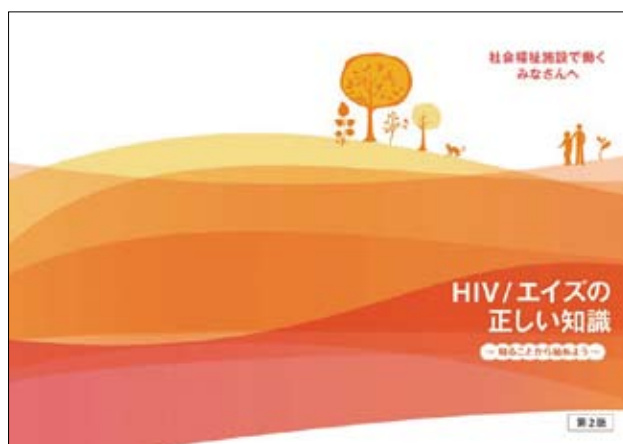


図5 HIV/AIDSの正しい知識

表10 PV数とPDF閲覧数

種別	2020	2019
ページビュー数	1,193	1,209
HIV/AIDSの正しい知識 第2版(平成31年版) PDF閲覧数	554	527
HIV/AIDSの正しい知識(全章版) PDF閲覧数	-	115
HIV/AIDSの正しい知識(抜粋版) PDF閲覧数	-	68

### ⑧ エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携に関する研究 (研究分担者：安尾有加)

[https://www.haart-support.jp/hospital\\_home.htm](https://www.haart-support.jp/hospital_home.htm)

このページでは訪問看護師を対象とした研修会のお知らせと、冊子「在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと」のPDF版を掲載している(図6)。ページビュー数とPDF閲覧数は表11のとおりである。

表11 PV数とPDF閲覧数

種別	2020	2019
ページビュー数	399	472
「在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと」PDF閲覧数	132	192



図 6 在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと

⑨ HIV 看護・介護の質の向上と学校での HIV 予防教育実践に関する研究 (研究分担者:佐保美奈子)

<https://www.haart-support.jp/nursing/index.htm>

今年度は第 21 回 HIV サポートリーダー養成研修 (ZOOM オンライン) の案内を掲載した。

2020 年 1 月 1 日～同年 12 月 31 日までの各ページビュー数は 1,228 であった (前年は 2,039)。各ページのビュー数は表 12 のとおりである。

図 7 HIV 看護・介護の質の向上と学校での HIV 予防教育実践に関する研究

表 12 ページごとのビュー数

種別	2020	2019
トップページ	769	1097
HIV サポートリーダー養成研修のご案内	391	753
お問い合わせ	34	63
HIV サポートリーダー養成研修の風景写真	25	45
HIV サポートリーダー養成研修申し込み	9	81
合計	1,228	2,039

⑩ HIV 診療における外来チーム医療マニュアル

<https://www.haart-support.jp/manual/index.htm>

HIV 診療における外来チーム医療マニュアルは HTML 版と PDF 版を公開している (図 8)。2020 年 1 月 1 日～同年 12 月 31 日までの HTML 版のページビューは 61,259 であった (前年は 49,058)。PDF 版の閲覧数は 300 であった (前年は 101)。HTML 版各ページのページビュー数 (上位 10 ページ) は表 13 のとおり。

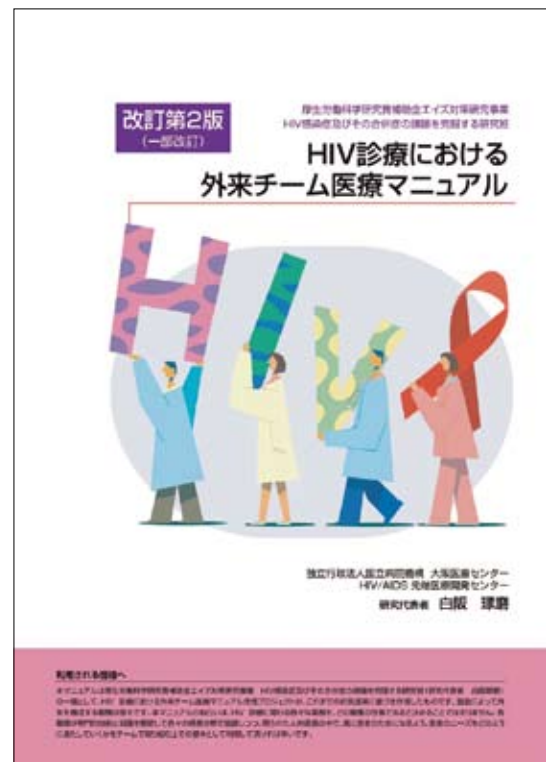


図 8 HIV 診療における外来チーム医療マニュアル

表 13 外来チーム医療マニュアルの PV 数

ページ	2020	2019
資料 1) 医療者が普段から備えておきたい援助的コミュニケーションスキルについて	19,008	13,275
資料 5) 身体障害者手帳	10,256	7,207
③診療	4,581	5,647
5) 抗 HIV 薬・抗 HIV 療法	3,655	1,817

iv HIV 感染症と精神科診療	2,444	2,370
5) 各医療者の役割	1,887	1,132
4) パートナー・家族等への支援	1,734	1,406
資料 6) 自立支援医療	1,688	1,536
資料 4) 健康保険証と関連制度	1,303	770
9) 服薬中断症例への服薬支援	1,287	375
以下省略		
総ページビュー数	61,259	49,058

表 13にあるように「資料 1) 医療者が普段から備えておきたい援助的コミュニケーションスキルについて」([https://www.haart-support.jp/manual/c04\\_01.html](https://www.haart-support.jp/manual/c04_01.html))へのアクセスが多い。

表 14は、このページへの来訪者が Google でどのような検索キーワードで訪れたのかを集計したものである。(集計期間は 2020 年 1 月 1 日～12 月 31 日まで)

表 14 検索キーワード別クリック数

検索キーワード	クリック数
治療的コミュニケーション	886
コミュニケーション技法 看護	660
治療的コミュニケーションとは	540
コミュニケーション技術 看護	479
援助的人間関係とは 看護	465
治療的コミュニケーション技法	237
意図的なコミュニケーション	226
治療的コミュニケーション例	223
援助的コミュニケーション	213
治療的コミュニケーション精神	211

10 項目中 9 項目で検索キーワードに「コミュニケーション」が含まれており、他 1 件も「援助的人間関係とは」であることから、多くの閲覧者が医療関係者間、あるいは医療関係者と患者やその周辺にいる方とのコミュニケーションに関する情報を求めていると思われる。

⑪ おくすりガイド

<https://www.haart-support.jp/information/index.htm>

ここでは抗 HIV 薬の添付文書や Q&A、患者向説明文書などを掲載している (図 9)。今年度は「抗 HIV 薬に関する Q&A」を第 11 版に更新し、プリジスタ錠 600mg、プリジスタナイーブ錠 800mg、ピフェルトロ配合錠 (DOR) の添付文書を更新した。

2020 年の総ページビュー数は 76,179 であった (前年は 57,823)。2020 年の上位 10 ページのページビュー数は表 15 のとおりである。なお各ページは公開時期が異なるため単純な比較はできない。



図 9 おくすりガイド

表 15 おくすりガイドの PV 数

ページ	2020	2019
ビラセプト錠 250mg の添付文書	12,149	526
抗 HIV 薬全般に関する Q&A	10,532	11,018
ザイアジェン錠 300mg の Q&A	8,082	5,948
カレトラ配合錠の添付文書	6,728	642
ツルバダ配合錠の添付文書	4,298	4,857
カレトラ配合錠の患者向説明文書 (翻訳)	3,353	29
おくすりガイド インデックス	3,211	3,476
ビラセプト錠 250mg の Q&A	2,815	2,032
レクシヴァ錠 700 の Q&A	2,311	39
ノービア錠 100mg の添付文書	2,191	707
以下省略		
総ページビュー数	76,179	57,823

2019 年は「抗 HIV 薬全般に関する Q&A」が最も多かったが、2020 年はビラセプト (NFV) が最も多くなった。他にもカレトラやザイアジェン (ABC)、レクシヴァ (FPV) ノービア (RTV) など初期の薬剤が増加している。これは「弛張熱」「紫斑と内出血の違い」「過敏症」「間欠熱」などのキーワードで検索された結果、上記のページが上位に表示されたためと思われる。(表 5)

⑫ HIV 感染症ってどんな病気?

<https://www.haart-support.jp/aboutHIV/index.htm>

「HIV 感染症ってどんな病気?」は HIV 感染症や免疫にあまりなじみのない方の理解を助けるために作成し、2006 年末に公開した (図 10)。2020 年の総

ページビュー数は206,912で、前年(138,832)から約1.5倍増加した。上位10ページのページビュー(PV)数は表16のとおりである。



図10 HIV感染症ってどんな病気？

表16 「HIV感染症ってどんな病気」のPV数

ページ	2020	2019
HIVとAIDSは違う！	36,381	7,839
プロテアーゼ阻害薬	17,800	5,791
CD4陽性リンパ球細胞の数	17,481	16,818
HIVについて	12,792	6,695
HIVの増え方	12,294	7,254
HIVに感染すると	12,253	10,541
抗HIV薬について	9,361	2,809
免疫システムを破壊するHIV	6,913	2,903
なぜ免疫力が弱くなるの？	6,620	7,877
CCR5阻害薬	5,710	4,997
総ページビュー数	206,912	138,832

⑬ 早わかり！症状から探す重大な副作用

このシステムは、まず症状を選び、次に服用している抗HIV薬を選択することで、重大な副作用に該当するかどうかを判定することができる(図11)。2020年のこのシステムへのアクセス数は874(前年は1,011)であった。

⑭ 感染初期の診療ー急性感染検査外来ーについて

<https://www.haart-support.jp/adr/index.htm>

大阪医療センター感染症内科で実施されていた急性感染検査外来は平成27年3月末をもって休診となった。これに伴ってホームページもトップページには掲載せず「アーカイブ」の下に設置し、掲載内容も休診のお知らせと「急性感染とは」「感染の可能性がある行為とは」「結果が陰性の場合」「結果が陽性の場合」を1ページに掲載している。しかし2018年からこのページへのアクセスが急増し、2017年は2,298PVだったのが2018年は36,626PV、2019年は141,511PVへと増加したが、2020年は43,105PVと減少した。



図11 早わかり！症状から探す重大な副作用

⑮ 冊子(紙媒体)の郵送お申し込み

<https://www.haart-support.jp/booklet/index.php>

2020年の申込件数は811件だった。内訳を表17に示す。

表17 冊子(紙媒体)の郵送申し込み件数

冊子	件数	冊数
抗HIV治療ガイドライン(A4版)	155	656
抗HIV治療ガイドライン(縮刷版)	124	594
HIV/AIDSの正しい知識	102	501
抗HIV薬 Q&A Ver.11.0	67	183
精神医療従事者のためのHIV/AIDSハンドブック	62	192
HIV感染症と精神疾患ハンドブック	71	197
あなたに知ってほしいこと	64	474
あなたと、あなたのいいヒトへ	55	234
Healthy & Sexy	51	194
在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと	60	298
合計	811	3,523

依頼者の情報

氏名

メールアドレス

所属先

部署名

〒

住所

送付先(住所と異なる場合)

電話番号

内線番号

FAX



ご希望の冊子（在庫状況により、ご希望に添えない場合がございます）

※必ず1つ以上の冊子にご記入ください。

抗HIV治療ガイドライン（A4版）を  冊

抗HIV治療ガイドライン（縦刷版）を  冊

HIV/AIDSの正しい知識を  冊

抗HIV薬 Q&A を  冊

精神医療従事者のためのHIV/AIDSハンドブックを  冊

HIV感染症と精神疾患ハンドブックを  冊

あなたに知ってほしいことを  冊

あなたと、あなたのいいヒトへを  冊

Healthy & Sexy を  冊

**利用方法**

当てはまるものにチェックをお付けください。

研修会【 医療従事者向け  院内職員  その他一般】

勉強会【 医療従事者向け  院内職員  その他一般】

講演会【 医療従事者向け  院内職員  その他一般】

その他

備考

図 12 冊子（紙媒体）郵送お申し込み

### (3) ページアンケートの集計

各ページからのアンケートの回答は、2020年1月1日から同年12月31日までに計257件あった。内訳は表18のとおりである。

表 18 ページアンケートの集計結果

評価	2020	2019
役に立った	209	124
一部、役に立った	30	22
役に立たなかった	18	13
回答数	257	159

送信ページごとの評価を表19にまとめた。

表 19 送信ページ別の評価

送信ページ	役に立った	一部、役に立った	役に立たなかった
抗HIV治療ガイドライン	8	0	0
HIV感染症ってどんな病気？	159	22	15
おくすりガイド	16	5	0
外来チーム医療マニュアル	7	2	2
研究の概要	1	0	0
トップページ	2	0	0
その他資料・冊子のダウンロード	2	0	0
急性感染外来	9	1	0
HIV陽性者の歯科診療の課題と対策	2	0	0
リンク	1	0	0

HIV感染症とメンタルヘルス	1	0	0
不明	1	0	1
合計	209	30	18

「役に立った」と評価された意見。

（カッコ内は送信ページ）

レポートの参考にに使わせていただきました！高校生の私でも簡潔に書かれてあって分かりやすくとても役に立ちました！イラスト付きなのも嬉しかったです！ありがとうございます？

（HIV感染症ってどんな病気？＞免疫システムを破壊するHIV）

分かりやすい

（HIV感染症ってどんな病気？＞HIVの増え方）

新型コロナ(2019NCOV)にも、エイズやエボラが混じっていると聞いて調べていました。HIVを遅らせる薬で肺炎が回復するらしいですが、退院後に中国ではバタバタ倒れて亡くなっているの、ずっと飲み続けられないといけないのかな？と思って読ませてもらいました、ありがとうございます

（抗HIV薬全般に関するQ&A）

元はエイズが原因で治療をしなかった為にAIDSにかかってしまったと言う事であっていますか

（HIV感染症ってどんな病気？＞HIVに感染すると）

遺伝子？操作は自由自在に出来ると言う事がこの図式で直ぐ解るね。

（HIV感染症ってどんな病気？＞HIVの増え方）

新型コロナウイルスに効果があることを期待しています。

（HIV感染症ってどんな病気？＞プロテアーゼ阻害薬）

も一少しかけど、感染者に、理解しやすく、説明文に。

（HIV感染症ってどんな病気？＞インテグラーゼ阻害薬）

よくわかりました

（HIV感染症ってどんな病気？＞プロテアーゼ阻害薬）

新型コロナウイルスに効くような薬の開発をお願いします。

（HIV感染症ってどんな病気？＞プロテアーゼ阻害薬）

抗原提示細胞が活性化しないと獲得免疫系は全く働かない？

(HIV感染症ってどんな病気？>どのように免疫システムは働くか)

素晴らしい！とても分かりやすいと思います。

(HIV感染症ってどんな病気？>HIVについて)

端的にまとまっており、非常にわかりやすかったです。

特に、プラモデルを例として取り上げている点が素晴らしいです。SARS-CoV-2に対するロピナビルの服用について調べていましたが、とても参考になりました。

(HIV感染症ってどんな病気？>プロテアーゼ阻害薬)

この検査は武漢ウイルス検査で云われているPCR検査と同じなのでしょうか違うのでしょうか。違うならその違いも解説して戴けたら有難いし、同じならPCR検査の言葉にも言及して欲しい。

(HIV感染症ってどんな病気？>ウイルス量)

U=Uが医学的に認められたのはとても嬉しいです。

(抗HIV治療ガイドライン)

高齢者の免疫力低下とリボソーム活性力の低下の関係が今回のコロナウイルスの爆発的な分散になっているのではないのでしょうか？

(HIV感染症ってどんな病気？>なぜ免疫力が弱くなるの？)

もっと基礎知識を身に付けないと難しい。DNA RNAは高校の生物Bで習ったが殆ど忘れた！

(HIV感染症ってどんな病気？>HIVの増え方)

トリメック配合剤を長く服用、副作用症状が止まらず投薬の変更をお願いしてきましたが、この薬で大丈夫。何故なのか詳しく説明も無く体調崩して起きられません！！とても怖い。助けてください。

(おくすりガイド)

昨日、トリメック配合剤の長期間投与されて来たものです。本日先程、体調優れず主治医へ診察のお願いしましたが断られました。トリメック配合剤説明書改定されてから薬剤師さんよりいただいた携帯すべき副作用カードと同じ症状が出て、主治医へ連絡

したのですが、今日は診察無し、トリメック配合剤飲まなくて大丈夫！HIV感染症の別な薬へ変更投与お願いしても今はしません。

服用しないで数日様子見て下さい。

服用も止まり、新しく別の薬も処方しません！体調が悪くどうして良いのか分からず、部屋に閉じこもり伏せています。そのまま死にましょう！と通告された様で怖くてたまりません。今の体調、検査数値、投薬の履歴、体調改善へ向かう、私の体にあったHIV薬、新薬は有りませんか？救いの薬は処方していただかず恐怖増すばかりです。助けてください！！

(トリメック配合錠の添付文書)

わかりやすくとても参考になりました。

ありがとうございました。

(HIV感染症ってどんな病気？>HIVの増え方)

巧妙なウイルスの活動が順番に、簡潔に説明されており、短時間で、最低限必要な知識がえられました。無駄がなく大変わかりやすい説明でした。

(HIV感染症ってどんな病気？>トップページ)

わかりやすく参考になりました。ありがとうございました、

(HIV感染症ってどんな病気？>HIVの増え方)

身近な問題だと常に思っています。HIVではないのですが、正しい知識を持ち感染しないように、生活をしていきたいです。

(HIV感染症ってどんな病気？>HIVとAIDSは違う！)

新しい情報、ありがとうございます、

(HIV感染症ってどんな病気？>HIVに感染すると)

大いに役に立った。本来、新型コロナウイルスと同じ一本鎖(+)RNAウイルスですよ？

(HIV感染症ってどんな病気？>HIVの増え方)

HIVとエイズの違い

治療で健康体と変わらず生きてゆく事ができる現在の疾患だと理解できた。

(HIV感染症ってどんな病気？>HIVとAIDSは違う！)

服用したは。続ける事が、命を守る事が分かった

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 交叉耐性)

人体には BCG の抗体以外に有るのでしょうか？

(HIV 感染症ってどんな病気？ > どのように免疫システムは働くか)

PDF 版の方がスマホ / PC 閲覧画面より見やすいと思いました。

(抗 HIV 治療ガイドライン)

栃木県下野市の市役所社会福祉課で、特定疾病療養証を発行してもらった所、認定疾病名 AIDS とされていた。市役所の社会福祉課で、誤った認識をしている様です。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV と AIDS は違う！)

お世話になっています。神戸大学医学部病院感染症内科外来看護師〇〇と申します。アンケートのコメント欄から申し訳ございません。

先日お電話でパンフレットを請求させていただき、迅速に対応して頂きましてありがとうございました。御礼が大変遅くなりました事をお詫びいたします。サイト紹介も添付していただきありがとうございました。今後、こちらのサイトも利用させていただきたく思います。不慣れな点が多いのですが、今後もよろしくお願い致します。

(資料・冊子・研究報告書のダウンロード)

とてもよく理解出来ました。有難うございました。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV の増え方)

世界エイズデーの臨時検査の説明をする際の知識にと思って調べています。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > インテグラーゼ阻害薬)

分かりやすい説明である。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > どのように免疫システムは働くか)

CD4( + )T 細胞から、ゲノムが細胞に移行する際、カプシドタンパクに対するタンパク分解酵素は関与していますか？

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV の増え方)

HIV の障害ランクに 1 から 4 までであるとは？勉強になりました。

(HIV 診療における外来チーム医療マニュアル > 資料 5) 身体障害者手帳)

図解がわかりやすかった

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV の増え方)

有り難うございます

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 抗 HIV 薬について)

本当にお役にたちました。有り難うございました。

(感染初期の診療－急性感染検査外来－について)

学校でたまたま見かけたポスターで HIV と AIDS の違いが気になって調べていたんですけど、すごく勉強になりました。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV と AIDS は違う！)

勉強に、なりました

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV の増え方)

わかりやすかったです。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > プロテアーゼ阻害薬)

1 日に二錠飲んでしまいました。どうすればいいですか？

(テビケイ錠 50mg の Q&A)

「一部、役に立った」と評価された意見

(カッコ内は送信ページ)

日和見感染症の例も載せて下さい。ピンときません。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 免疫システムを破壊する HIV)

その蛋白質は、まず大きな分子として組み立てられます。このままの大きさではウイルスが組み立てられません。

このところをもう少し説明が欲しいです。

このサイズだとなぜウイルスが組み立てられないのか。

ひとつの部屋で作業していると過程して、たんぱく質がその部屋いっぱいのため、ウイルスを作るスペースがないから切断する、と考えればいいのでしょうか？

(HIV 感染症ってどんな病気？ > プロテアーゼ阻害薬)

新型コロナウイルスの治療薬として期待されていますが、HIVのプロテアーゼとコロナのプロテアーゼは同一なのでしょうか？

(HIV感染症ってどんな病気？>プロテアーゼ阻害薬)

自分HIVの陽性。帝京大学病院にて、治療中。薬は毎時朝7時50分から8時05分迄に、厳格に飲んでいきます。

(HIV診療における外来チーム医療マニュアル>第1章HIV感染症の外来診療におけるチーム医療とは)

免疫を高める食べ物が知りたかった

(HIV感染症ってどんな病気？>どのように免疫システムは働くか)

HIV感染者が23の合併症のいずれかを発症するとエイズ患者となる点は理解できましたが、今回のCOVID-19騒動でも感染者と発症者数が一緒になっているように感じています。

中国ではAIDS患者の数を月報等で発表していますが、HIV感染者数については、月報で発表されていません。単なる感染者と発症した患者を区分できるような用語があれば教えてください

(HIV感染症ってどんな病気？>HIVとAIDSは違う！)

イライラすると免疫力が弱くなってしまい、インフルエンザになりやすいです。高校1年生の時に青葉台駅のバス停で毎日横入りをする人がいつもいて、あまりにもイライラが酷くてインフルエンザにかかったのが理由です。

(HIV感染症ってどんな病気？>なぜ免疫力が弱くなるの？)

ゲンボイヤの二回分を一度に飲んでしまったらどうなりますか？

(抗HIV薬全般に関するQ&A)

少量のウイルス感染では発症するのか、もししないとしたら、どの程度の量か？研究はありますか。特に、HIVでなく、新型コロナのが知りたいですが〜。蚊やゴキブリ、年のドブネズミなどもSARSではウイルスを持っていたそうですし。

(HIV感染症ってどんな病気？>ウイルス量)

特になし。

(HIV感染症ってどんな病気？>治療法について)

特になし。

(HIV感染症ってどんな病気？>抗HIV薬について)

ゆっくり食べていますが

夜にお腹がすきます

薬を飲んで三時間後

ごはんやパンを食べても大丈夫でしょうか

(ザイアジェン錠300mgのQ&A)

「役に立たなかった」と評価された意見

(カッコ内は送信ページ)

抽象的すぎて何か分かったような気がしない。

(HIV感染症ってどんな病気？>免疫力の仕組み)

感染予防策はどこで見つけられるのでしょうか？

わからない

(HIV感染症ってどんな病気？>病気から体を守る免疫)

薬の名前がない・・・

(HIV感染症ってどんな病気？>逆転写酵素阻害剤)

エイズは飛沫感染します。

(HIV診療における外来チーム医療マニュアル>4)パートナー・家族等への支援)

うっとうしい

(HIV診療における外来チーム医療マニュアル>5)抗HIV薬・抗HIV療法)

#### (4) Web サイト全体に関するアンケートの集計

2020年1月1日から同年12月31日までのアンケート送信数は10件であった。その内訳は表20のとおりである。

表20 サイト全体に関するアンケート

設問		計
年齢	10代	2
	20代	0
	30代	0
	40代	4
	50代	2
	60代以上	4
性別	男性	6
	女性	6
あなたの立場	患者	2
	患者の家族・友人等	0
	医療関係者	3
	その他	7
このホームページをどこでお知りになりましたか？	検索エンジン	11
	他のホームページからのリンク	0
	友人・知人に教えてもらった	0
	医療関係者に勧められた	0
	その他	0
役に立った内容	薬カード	2
	Q & A	3
	患者向説明文書（翻訳）	0
	添付文書情報	2

自由記述欄（欲しい情報、ご意見、ご要望）に入力のあった投稿を以下に紹介する。

##### [ ほしい情報 ]

これから加えられるかも知れませんが、今問題になっている新型コロナウイルスにHIV治療薬を投与した結果についての情報があればいいと思います。

今、日本の新規感染者の情報が、ざっとわかっただけならいいかな。

##### [4. ご意見、ご要望]

トップページに検索窓が欲しいです。

どこのページを見ていいかわからずとりあえず単語で検索したいという場合に。

(グーグルで簡単に設置するソースがあったかと思えます)

#### 考察

Webサイト全体では2020年のページビュー(PV)数は627,875PVで、2019年の578,473PVから増加した。しかしその閲覧動向は例年とは大きく異なる。図13は1か月ごとのページビュー数の推移だが、2020年は2月に突出してページビュー数が増加している(1か月ごとのページビュー数は表3を参照)。

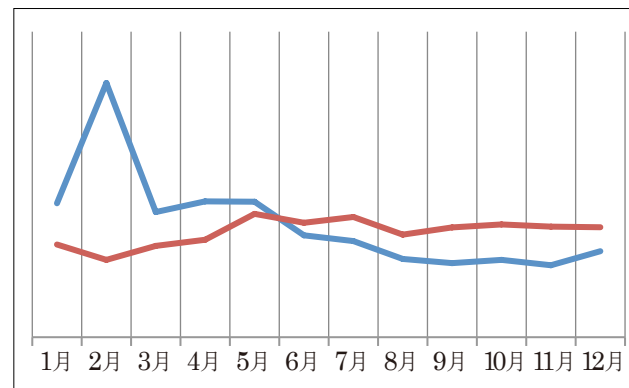


図13 1か月ごとのページビューの推移  
(青は2020年、赤が2019年)

2月といえば国内でも新型コロナウイルスが注目され始めた時期で、乗客の感染が判明したクルーズ船が入港したころ(2月3日)でもある。新型コロナウイルスの治療薬として抗HIV薬が有効か?との報道もあり、当サイトへのアクセスが急増したと思われる。ただそれも一過性のことで3月には1月と同水準に戻り、6月からは前年を下回る結果となった。

抗HIV治療ガイドラインはこれまでPDFでの掲載だったが、スマートフォンなどの小さな画面でも閲覧しやすくするため、HTMLで再構築し2018年11月27日に公開した(スマホ/PC版)。その結果2019年はPDF版の閲覧数13,865に対してスマホ/PC版は240,192PVであった。しかし2020年はPDF版が11,441、スマホ/PC版が49,405と減少した。

「おくすりガイド」ではビラセプト(NFV)やザイアジェン(ABC)、カレトラなど比較的初期に発売された薬剤の添付文書へのアクセスが多い(表15)。それらのページにどのような検索キーワードで来訪しているかを調べると「弛張熱」や「紫斑と内出血の違い」「過敏症」「間欠熱」などが多い(表5)ことから、HIV/エイズに限らず他の疾病が原因でこれらの副作用を調べた人も多く存在すると思われる。

「HIV感染症ってどんな病気?」はウイルスや免疫細胞を擬人化したイラストを用いて解説したペー

ジで、2020年のページビュー数は206,912、1日平均567PVと多い(表16)。中でも最も閲覧数が多かったページは「HIVとエイズは違う!」で36,381PVであった。「HIV感染症ってどんな病気?」からはページアンケートの送信も多く、全体の約76%(257件中196)であった。

サイト全体の評価は「役に立った」「一部、役に立った」が92%(196件中181)と高い。(表18 ページアンケートの集計結果)

## 結論

Webサイト全体の閲覧数は2019年よりも増加した。その中には新型コロナウイルス(COVID-19)の影響と考えられる訪問もあるが、総じてページアンケートの評価が高いことから、感染症やHIV/エイズに対する理解の一助になっていると考えられる。

また掲載内容が研究分担者の研究成果に留まらず患者向けから医療従事者、介護、福祉施設などの関係者まで幅広く、他に類を見ないWebサイトと言える。以上から当サイトの利用価値、有用性は高いと考えられる。

## 健康危険情報

該当なし

## 研究発表

なし

## 知的財産権の出願・登録状況

該当なし